

大学祭に開催にあたっての 本学の取り組み①

1. 飛沫の抑制（マスク着用や大声を出さないこと）の徹底

- ・飛沫が発生するおそれのある行為を抑制するため、適切なマスクの正しい着用（※1）や大声（※2）を出さないことを周知・徹底し、そうした行為をする者がいた場合には、個別に注意、退場処分等の措置を講じます。

（※1）マスクの着用については、厚生労働省HP「国民の皆さまへ（新型コロナウイルス感染症）」参照。

（※2）大声の定義を「観客等が、①通常よりも大きな声量で、②反復・継続的に声を発すること」とする。

2. 手洗、手指・施設消毒の徹底

- ・こまめな手洗や手指消毒の徹底を促します。（会場出入口等へのアルコール消毒液を設置し、感染症対策本部による警備を実施いたします。）。
- ・学生運営委員会による施設内（出入口、共用部等）の定期的かつこまめな消毒を実施いたします。

3. 換気の徹底

- ・空調設備の設置による常時換気およびこまめな換気の徹底いたします。

4. 来場者間の密集回避

- ・声かけや、座席指定等により、来場者の密集を回避するための措置を実施いたします。
- ・休憩時間や待合場所での密集も回避するための人員配置や動線確保等の体制を構築いたします。
- ・ステージイベントでは、人と人が触れ合わない間隔および身体的距離の確保をおこないます。

大学祭開催にあたっての 本学の取り組み②

5. 飲食の制限

- ・ 飲食禁止エリア（中央広場周辺）での飲食は禁止いたします。
- ・ 飲食時の感染防止策（飲食店に求められる感染防止策等を踏まえた十分な対策）の徹底いたします。
- ・ 飲食中以外のマスク着用の推奨いたします。

6. 出演者等の感染対策

- ・ 有症状者（発熱又は風邪等の症状を呈する者）は出演・練習を控えるなど日常から出演者やスタッフ等の健康管理を徹底いたします。
- ・ 練習時等、イベント開催前も含め、声を発出する出演者やスタッフ等の関係者間での感染リスクに留意いたします。

7. 参加者の 把握・管理等

- ・ 大阪コロナ追跡システムを活用し、参加者の把握。
- ・ 入場時の検温により、有症状者の入場を確実に防止。
- ・ 直行・直帰の呼びかけ等イベント前後の感染防止の注意喚起。

以上の取り組みを徹底し、
大学祭の準備・運営を行います。